

大人たちには見えなくなってしまう物を、子どもたちは見えています。大人が無くしてしまっただけの純粋な生きる力を持っています。**映画の中の子どもたちの姿**を通して、何かを取り戻すきっかけになったらと.....。

1999年 **12月5日** (日) 入場料 1日券 **500円**

碧南市芸術文化ホール
シアターサウス

- ① 10時30分～ コーリヤ 愛のプラハ (105分)
 - ② 13時～ フィオナの海 (103分)
 - ③ 15時～ コーリヤ 愛のプラハ (105分)
- ☑ 広報へきなん (10/11号) でお知らせした内容 (上映作品・開始時間) と変更がありますので、ご了承ください。

1996年 チェコ=英=仏作品 「**コーリヤ 愛のプラハ**」



社会主義体制崩壊を目前に控えた88年のチェコを舞台にした人間ドラマ。運命の巡り合わせから“父子”になってしまう老音楽家と少年の交流を暖かくユーモラスに描いた感動作。国民的チェリストから葬儀伴奏者に身を落としたロウカは、お金欲しさに友人の持ちかける偽装結婚の話に乗ってしまう。が、当のロシア妻は結婚後に西独へと遁走、秘密警察を恐れる彼には5歳のコーリヤだけが残されるのだった。言葉も習慣も違う彼らは衝突を繰り返すが、やがて独身主義のロウカにも父親の感情が芽生え、コーリヤも彼を慕いだすのだが.....。
東京国際映画祭ではグランプリを受賞。
アカデミー外国語映画賞

「**フィオナの海**」 1994年 アメリカ作品

ロザリー・K・フライの同名小説を、舞台をスコットランドからアイルランドに変えて映画化した感動作。ケルト民族の神話をモチーフに、家族の絆、人間と自然のかかわりを名手H・ウェクスラーの幻想的な映像の中に綴る。1940年代、母親を病で失った幼い少女フィオナが、アイルランド北西部の海岸で暮らす祖父母の元に引き取られる。フィオナの一家が暮らしていた島ローン・イニッシュは、今では無人となりアザラシの島になっていた。祖父から島にまつわる伝説や弟ジェミーがゆりかごとと海にさらわれた話を聞いたフィオナは、弟がまだ生きてると信じ、島へ帰ることを望むようになる。やがて従兄弟とともに島を訪れた彼女は、そこで弟の姿を目撃するが.....。



★チケットの予約・問い合わせ

碧南市芸術文化ホール TEL.0566-48-3731
〒447-0057 碧南市鶴見町1-70-1

主催：碧南市／碧南市教育委員会

協力：シアターサウス映画の会